

ハザマ
伝統と近代化の間で
—現地視察を通じて見た「秘境」チベットの変容

開催日時：2010年10月23日（土曜日）13:00～17:00（開場 12:30～）

開催場所：東京都文京区本郷7丁目3-1 東京大学福武ホール

開催趣旨

「秘境」といわれるチベットは、中国社会の発展にともなって急激に変化する中、海外のマスコミによって頻繁に取り上げられています。しかし、マスコミによって形成されつつある今日の「チベット」のイメージは、はたして真実のチベットそのものなのでしょうか。言い換えれば、今日のチベットの人々が果たしてマスコミが伝えているような自然環境と社会環境の中で暮らし、マスコミによって伝えられたようなアイデンティティを持っているのでしょうか。

このような問題意識の下、日本華人教授会議のメンバーと日本人の研究者たちは、この8月から9月までに自らチベットへ行き、研究機関を訪問し、小中高校、専門学校、大学、村、発電所、寺院などにおいて実地調査を行い、政治、経済、社会、宗教、教育、伝統文化保護、自然環境保護などさまざまな側面からありのままのチベットを至近距離で観察しました。まさに「百聞は一見にしかず」、との感です。そこで、チベットの「真実」を私たちが自らの認識に基づき、自ら撮ってきた映像資料などを使いながら各々の視点で再検討するため、今回のシンポジウムを企画しました。

開会式 13:00～13:40

司会：神戸大学教授 王 柯

趣 旨 説 明：日本華人教授会議代表 東洋学園大学教授 朱 建栄

ゲストスピーチ：中国におけるチベット学研究の現状

中国チベット学研究センター副研究員 ガダワツェリン

第一セッション 近代化の流れの中の伝統文化と教育 13:40～14:40

司会：聖トマス大学教授 王 智新

報告1：チベットにおける教育の現状とその問題点

横浜国立大学教授 村田 忠禧

報告2：民族教育政策の国際比較—アメリカ・インドネシア・中国

早稲田大学教授 カワン・スタント

パネリスト：千葉商科大学教授 趙 軍

神戸大学教授 王 柯

休憩 14:40～14:50

日本華人教授會議主催第7回国際シンポジウム

第二セッション 民族地域経済の持続的な発展を実現する諸条件 14:50～15:50

司会：千葉商科大学教授 趙 軍

報告1：チベットにおける経済発展モデルとその課題

拓殖大学教授 朱 炎

報告2：観光業による持続発展の可能性と将来性

帝京平成大学教授 叶 芳和（特別参加）

パネリスト：早稲田大学教授 金 群

東京成徳大学教授 周 建中

第三セッション 総合討論 15:50～16:50

司会：神戸大学教授 王 柯

出席者：報告者・パネリスト全員

質疑応答

閉会の挨拶 日本華人教授會議代表 東洋学園大学教授 朱 建栄